

俳句ポスト 夏の部 特選句

竹中 昭子 選(白山市俳句協会)

あのゴール届かなかった夏夕日	小松市	上田 智也
朱の鉄橋渡る黒部の青葉風	白山市	永盛 富佐恵
風を入れ風となりゆく鯉幟	兵庫県	保理江 順子
幾千の星を拾ひに登山宿	能美市	森田 香津美
すずめ一羽もう一羽来て夏の雨	白山市	多川 洋子
蚕豆の莢剥く祖母と九九暗唱	白山市	佃 久美子
ゲレンデの急勾配を夏蕨	白山市	福田 千鶴子
離れ住む子らの上にも梅雨の月	白山市	北山 美和
緑陰に見る聖堂の白さかな	福井県	木津 和典
梅雨晴れや葉裏を返し山動く	兵庫県	山本 肇
黒南風や水音走る天領地	白山市	戸田 敬子
つややかに粥の煮上がる若葉冷え	白山市	谷口 外喜恵
モザイクの窓の光に夏目覚め	白山市	瀬法司 育子
大鉦の跡をあらわに梁涼し	徳島県	中村 晴江
堰落ちる水のくづれや晩夏光	愛知県	与玖 法破来
どの部屋も白山の風入れて夏	白山市	吉田 好枝
山影を乱し田植機直進す	白山市	北野 忠男
折り畳む椅子の軽さや夏木立	白山市	大野 末子
父と子の星座を探す夏休み	白山市	大浦 春美
夏のそらくもがきれいだすくすくと	白山市	谷本 華梨

選者吟

梅檀の実は未だ青し千代の寺

昭子

〈令和3年5月～7月 投句数1002句, 投句者数 149人〉